

「第4次山形県総合発展計画（仮称）」策定の基本方針（案）

1. 策定の趣旨

第3次山形県総合発展計画に基づく県づくり

- これまで、第3次山形県総合発展計画に基づき、県づくりを着実に推進
- 同計画に基づき、諸課題に積極的に対応してきたことにより、暮らし、産業経済、地域社会の各分野で県勢発展の基盤形成が着実に進展

本県を取り巻く社会経済情勢

- 一方で、少子高齢化の進行による人口減少の加速、グローバル化の拡大・深化、ICTの飛躍的発展、災害の頻発・激甚化など、時代の大きな転換点を迎えている

今後の県勢発展に向けた対応

- 本県が発展し続けるためには、時代の転換の先を見据え、中長期的な視点に立った県づくりの方向性をしっかりと描き、県民と共有し、共に実行していくことが必要

県民と共に県づくりを進めるための新たな指針となる
「第4次山形県総合発展計画（仮称）」を策定

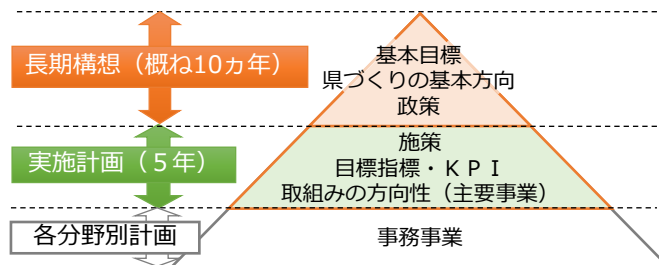
2. 計画の体系

（1）長期構想

- 県づくりの基本的な考え方と基本目標（将来ビジョン）、その実現のための政策展開の方向性を示す。
- 長期構想には、「地域の発展方向」、「人口ビジョン」、「県土構造のグランドデザイン」を盛り込む。
- 計画期間：令和2年度（2020年度）からの概ね10年を展望

（2）実施計画

- 長期構想の基本目標を実現するための主要な事業の方向性を示すとともに、その進行管理のための目標指標やKPI（重要業績評価指標）を盛り込む。
- 次期総合戦略と一体の計画として策定
- 計画期間：令和2年度から5年



3. 策定の体制

（1）総合政策審議会

- 総合政策審議会において調査・審議
- 審議会での議論を深掘りするため、政策研究会を分野別に設置

【設置例】

- ・ 県づくり構想研究会
- ・ 人づくり・暮らし政策研究会
- ・ 産業経済・交流政策研究会
- ・ 基盤形成・地域づくり研究会

（2）県民各層の意見の反映

- 県内外の有識者との意見交換（「やまがた創生懇談会」など）
- 地域づくりに関係する県内各種団体との意見交換（子育て支援やまちづくり、経済関係の団体など）
- 新たに県内学生（大学・高校）や若手経済人との施策検討ワークショップやミーティング等
- パブリックコメント

（3）市町村・地域の意見の反映

- 総合支庁単位で市町村長、地域住民、若者や有識者との意見交換を実施（主に「地域の発展方向」について意見聴取）

4. 計画の基本的な方向性

県づくりの基本視点(これからの県づくりで重視すべき視点)

① 人口減少問題を克服し、持続的に発展する活力ある地域社会の形成

- 人口減少に対し、自然減対策と社会減対策を総合的かつ強力に推進し、中長期的な観点からの歯止めを目指していく。
- 県民総活躍や産業イノベーションを促進することにより、地域や産業の発展の担い手を確保し、当面進行が見込まれる人口減少に対応していく。

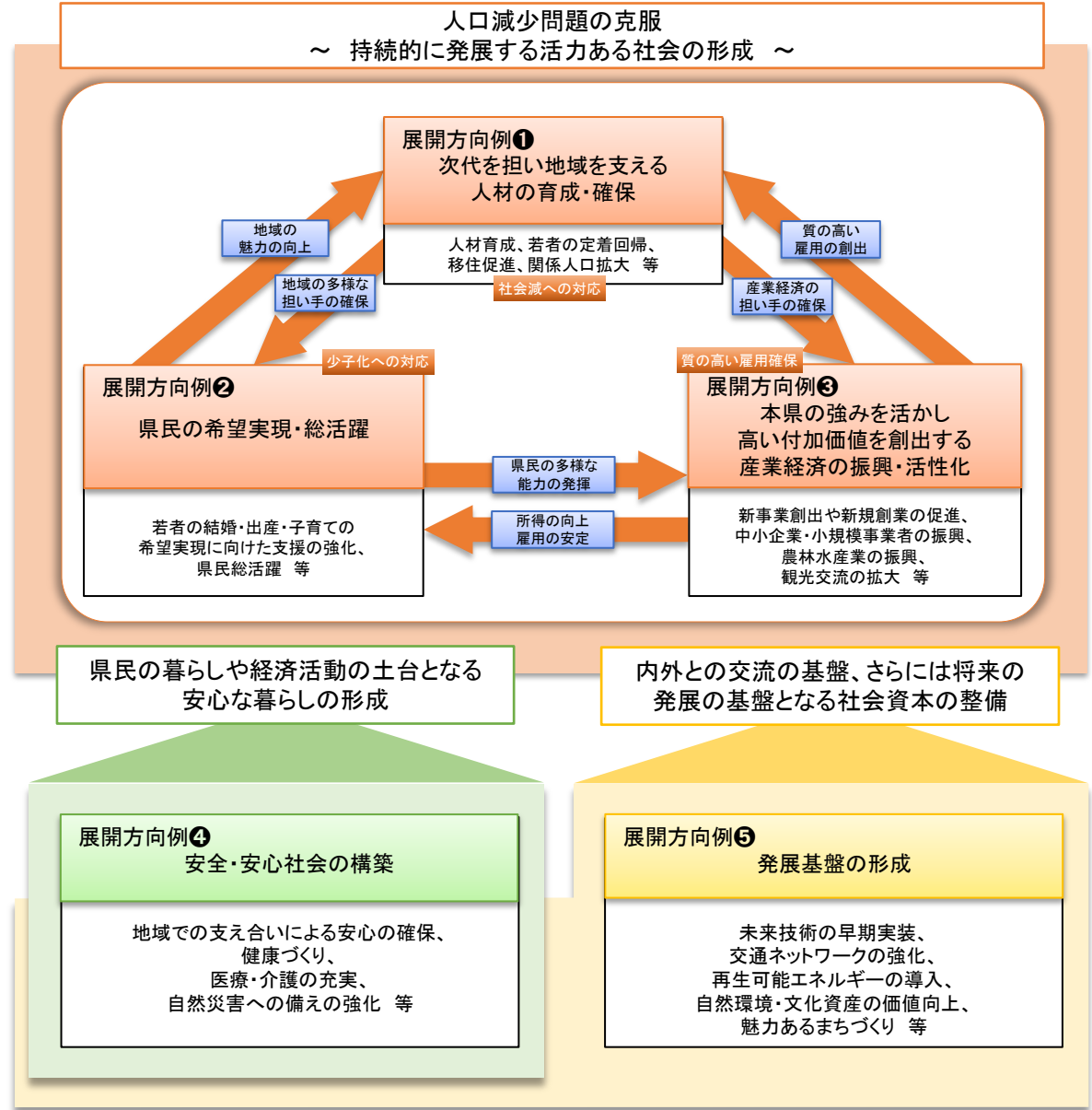
② 県民一人ひとりの活躍の土台となる安心な暮らしの形成

- 県民の活躍やチャレンジの基盤となる健康で安全・安心な暮らしを実現していく。

③ 将来を見据えた発展基盤づくり

- 高速交通基盤などの社会インフラをはじめ、将来世代も視野に入れた発展基盤づくりを推進していく。
- 伝統文化、祭り等の文化資産や、環境資源を適切に保全・活用しながら、次代にしっかり継承していく。

県づくりの展開方向(イメージ)



- … 広域流通や輸出を視野に入れた鮮度保持技術や加工技術等の開発促進
- … 企画から販売まで総合的にプロデュースする地域商社機能の確保・充実、運送業者や交通事業者との連携の強化
- … 輸出相手国に応じたマーケティング戦略の策定、県内企業と海外市場をコーディネートする支援体制の強化 など

(4) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化

◎ 観光地域づくりの推進 ～ 観光消費拡大へのステップアップ ～

- 滞在型観光やリピーター獲得に繋がる良質なツーリズムの振興
- … 自然（自然公園）や文化（文化財）、景観、農業など地域固有の資源の魅力を総合的にプロデュース・ガイドし、質の高い体験や住民との交流、良質な滞在サービスを提供するツーリズムの企画運営
- … 本県が誇る美食・美酒を活かしたガストロノミーツーリズム※、「雪」を活かしたスポーツ・雪遊び等のアクティビティや伝統行事等の雪国文化を体験できるスノーツーリズム等の展開促進 など

※ガストロノミーツーリズム：その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズムのこと。

⇒ アジアの国・地域に加え、長期滞在が多い欧米豪の旅行者の誘致を強化

- 地域資源が持つポテンシャルの最大限の活用
- … 地域の取組みの核となる DMO・DMC※の育成と活動活性化に向けた支援の強化（人材育成、DMO・DMC 間の情報交換・連携促進） など

※DMO・DMC：Destination Management Organization の略。観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。DMCは、Destination Management Company の略。

◎ 戦略的な誘客の促進

- インバウンド拡大に向けた、県内の2空港や仙台空港など隣接県の空港、鉄道、高速道路（高速バス）等を活用した広域周遊ルートの形成促進
- ターゲットに応じた情報発信の強化
- … ビックデータ等を活用した旅行者の属性に応じた情報発信の展開、将来の山形ファンの拡大や県産品の販路拡大を意識したターゲット国・地域の設定と誘客プロモーションの展開 など

◎ 文化・スポーツ等を活かした多様な交流の促進

- 多様な訪問ニーズへの対応力の強化
- … 山形県総合文化芸術館や市町村の特色ある文化施設等における企画の充実、MICE※やスポーツ・文化イベント等の開催に対する支援の充実 など

※MICE：企業の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、各種団体・学会等が行う会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

4 安全・安心社会の構築

主な検討のテーマ（例）

- ◇ 県民が住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていける社会の実現に向けた
 - ①支え合いの基盤となる地域コミュニティ機能の維持向上
 - ②健康長寿を支える保健・医療・福祉の充実
 - ③生命・財産を守る危機管理機能の強化
 などの取組み

施策展開の方向（例）

(1) 持続可能な地域コミュニティづくり

◎ 地域コミュニティの機能確保に向けた外部の活カやノウハウの取込み

- コミュニティの活性化や地域課題の解決に向けた、地域外の人材や NPO、企業等との連携・協働の取組みの促進
- … 中間支援団体等との連携によるマッチング支援、地域課題の解決に向けた新たなサービスのモデル導入 など

(2) 人生 100 年時代に対応した健康寿命の延伸

◎ 県民一人ひとりの健康的な生活習慣づくりの促進

- 健康の保持・増進に向けた「食事」「運動」「疾病予防」といった生活習慣のあり方などを学校・企業・地域等との連携によって子どもの頃から学び・実践する機会の充実
- … 市町村や公的医療保険の保険者、医療機関、大学等との連携による健診データ等の分析に基づく効果的な健康づくり施策や疾病予防対策の企画・展開（データヘルスの推進）
- … 身近な健康づくり活動への新たなインセンティブ付与の仕組みの検討 など

(3) 医療・介護提供体制の充実

◎ 質の高い医療の提供

- 地域医療の安定的・効果的な提供に向けた医療人材の確保・育成及び地域における医療機関の役割分担の明確化と機能再編・連携の推進
- … 「地域枠」の設定など大学と連携した効果的・計画的な医師確保、医師派遣の推進
- … 遠隔診療の導入など、中山間地や離島における ICT を活用した医療提供体制の整備 など

◎ 地域包括ケアシステムの構築・推進

- 高齢者や障がい者等の地域での安心な暮らしを支える、医療・福祉をはじめ、介護予防や生活支援も含めた多職種連携によるサービス提供の充実

- … 医師会等と連携した在宅医療提供体制の強化、個人や世帯が抱える複合的な課題（医療、介護、ひきこもり、生活困窮など）に対する包括的な相談支援体制の強化 など

(4) 自然災害への備えの強化

◎ 自助・共助による地域防災力の強化

- 災害時における地域での迅速かつ細やかな対応を可能とする自主防災組織の更なる組織化と防災士などリーダーの育成、大規模地震や津波の発生を想定した実践的な防災訓練の実施促進

- … 市町村や自主防災組織におけるハザードマップを活用した訓練や夜間・冬季等の災害発生を想定した訓練、シェイクアウト訓練※（市民が一斉に安全行動をとる訓練）の普及促進 など

※シェイクアウト訓練：地震が発生した時、自分を守るために真っ先に行うべき安全確保行動のこと。専用ウェブサイトに登録した参加者が、電子メールを合図に、指定された日時に自宅や勤務地などそれぞれがいる場所で訓練を行う。

◎ 災害対応体制の強化

- 市町村等との連携による現場体制の強化

- … 防災行政無線、緊急速報メール、SNS など、住民への情報伝達手段の多重化の促進

- … 避難所における被災者の健康や生活環境の確保、災害時要配慮者向けの福祉避難所の指定の促進

- … 近隣県等との広域連携やNPO・ボランティア、民間事業者等との連携体制の強化

- … 防災拠点となる学校等の公共施設の耐震化や民間事業者等と連携した災害時のエネルギー・情報通信の確保に向けた取組みの推進 など

- 災害時等における広域的な機能代替や補完を念頭に置いた取組みの重点化

- … ライフライン（電気、水道、燃料など）の耐災性の強化や二重化の促進

- … リダンダンシー※の確保を念頭に置いた社会資本の整備

※リダンダンシー：自然災害などによる障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破棄が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段を用意すること。

5 発展基盤の形成

主な検討のテーマ（例）

- ◇ 質の高い暮らしや活力ある産業、内外との交流を持続的・発展的に支えるための
 - ①社会インフラの機能強化
 - ②本県らしさの源泉となる自然環境、文化資産の保全・活用・継承
 - ③都市や周辺地域が持つ魅力の向上
 などの取組み

施策展開の方向（例）

(1) 暮らしや産業の発展の基盤となる未来技術の早期実装

◎ 早期実装に向けた社会実験や実証事業の積極的な推進

- 実証事業を推進し導入・利活用のノウハウなどを蓄積していくための枠組みづくりの推進

- … 先端技術を持つ企業と市町村等との官民連携の体制や仕組みの構築

- … 高齢者の安全安心、健康・医療・福祉、まちづくり（スマートシティ※）など地域課題・テーマに対応した具体的プロジェクト化の推進 など

※スマートシティ：都市・地域の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図れる持続可能な都市または地区のこと。

(2) 県民の活動の基盤となる多様で重層的な交通ネットワークの形成

◎ 国際ネットワークの形成促進

- アジア地域の活力やインバウンド需要の取込み、県民や本県産業の海外展開を支える空港・港湾の機能強化

- … インバウンドの受入に対応した県内空港・港湾のゲートウェイ機能の強化、近隣県の空港・港湾や大都市の国際空港との連携強化 など

◎ 国内広域交通ネットワークの充実強化

- 県民の広域的な生活・産業活動や県外との交流・連携を支える国内航空ネットワークや幹線鉄道の利便性向上 など

◎ 地域間・域内交通ネットワークの維持確保

- 多様なニーズに応え住民も来訪者も使いやすい地域交通の維持確保

- … 高齢者等の移手段の確保に向けた、自家用有償旅客運送※や地域の商業施設の送迎輸送、スクールバス等の地域の多様な輸送資源の活用拡大

※自家用有償旅客運送：バス・タクシー事業が成り立たない場合であって、地域における輸送手段の確保が必要な場合に、道路運送法の登録を受け、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が自家用車を用いて提供する運送サービス。市町村や地域主体のデマ

ドタクシー・コミュニティバスなどの運行に活用されている。

- … 自動運転など新たな技術の導入促進、まちづくりとも連動した公共交通網の再編促進、カーシェア[※]や MaaS[※]など新たなモビリティサービスの導入促進 など

※カーシェア：1台の自動車複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態のこと。
※MaaS：Mobility as a Service の略。鉄道・バスなどを一体的に検索・予約・決済できるシステムのこと。

(3) 持続可能で効率的な社会資本の維持・管理の推進

◎ 効率的な維持・管理、利活用に向けたマネジメントの推進

- 長寿命化対策や既存施設の有効活用、ICT を活用した整備・管理点検手法の導入拡大による効率化・省力化の推進
- 多様な主体が社会資本の維持管理・運営等に参画・協働する仕組みの拡大
- … PPP・PFI[※]、指定管理者制度[※]などを含めた民間ノウハウの活用推進、地域住民や団体・企業等が担う公的役割の拡大に向けた連携強化（担い手の確保） など

※PPP・PFI：【PPP】Public Private Partnership の略。行政と民間が連携して、それぞれお互いの強みを活かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るもの。

【PFI】Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。PPP の一類型。

※指定管理者制度：地方公共団体が設置する公の施設について、当該地方公共団体が指定する法人や団体（指定管理者）に管理を行わせる制度のこと。民間の能力やノウハウを施設の管理運営に活かすことにより、県民サービスの一層の向上、行政経費の節減、地域の活性化等を図ることをねらいとしている。

(4) 自然環境・文化資産などの保全・活用・継承による持続可能な地域づくり

◎ 良好な自然環境の保全・活用・継承

- 脱炭素・資源循環の取り組みの推進
- … 気候変動に対する緩和策と適応策の総合的な推進、プラスチックごみ等の廃棄物の更なる排出抑制 など
- 優れた環境資産の価値の活用・経済化
- … CO2 吸収源対策等の価値化、自然・景観・文化の資源化・活用 など
- 次代への発展的継承
- … 地域における保全活動等を担う人材の育成・活動促進に加え、関係人口の活用や、活動資金の確保を後押しする新たな仕組みの導入 など

◎ 自然資源を活用したエネルギーの導入拡大

- 風力や熱利用など再生可能エネルギー導入拡大
- … 日本海洋上での風力発電の導入への取り組み促進、地中熱・雪氷熱・温泉熱の利活用に向けた研究・検討、災害時のライフライン確保も考慮した地域分散型のエネルギーシステムの導入促進 など

(5) 活力ある地域の形成

◎ 市町村等と連携した魅力あるまちづくりの推進

- 都市の拠点性・利便性の維持向上
- … 都市機能のコンパクト化、遊休資産の集約再編・用途転換等の推進、民間事業者等と連携した空き家・空き店舗等のリノベーション促進 など
- 都市の賑わい創出の取組み推進
- … まちなかへの居住促進など「ひとが集まる」空間づくりの推進、民間活力による都市再生やエリアマネジメント活動[※]への支援、景観まちづくりなど都市観光の魅力向上のための取組みの促進 など

※エリアマネジメント活動：特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行おうという取組みのこと。地域の来訪者又は滞在者の利便の増進やその増加により経済効果の増進を図り、地域における就業機会の創出や経済基盤の強化に資する活動を行う。

◎ 豊富な地域資源を活かした中山間地域の維持・活性化

- 集落機能や多面的機能の維持確保
- … 地域内外の主体の参加による集落の生活機能の維持、水田や森林等の管理・保全に向けた仕組みづくりの促進 など
- 都市と中山間地域の交流拡大による相互補完、連携関係の強化
- … 多様な働き方の受入先としての環境整備とライフスタイルの発信の促進 など

◎ 持続可能な地域づくりに向けた広域連携の推進

- 暮らしに必要な機能・サービスの確保や経済活力の維持・向上を図る市町村間の連携の促進
- … 連携中枢都市圏[※]の形成と取組みに対する支援 など

※連携中枢都市圏：地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することを目的とした圏域のこと。

- 地域のポテンシャルを最大限に発揮する近隣県等との交流連携の推進
- … 東北中央自動車道等の高速交通基盤の整備進展等も踏まえた広域観光ルート形成と共同プロモーションの実施、農林水産分野や工業分野等の広域商談会の開催 など

※ 以上は、政府が6月に公表した「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」の内容を反映して取りまとめたものであり、今後も政府における次期総合戦略策定と一体的に検討を行っていく。